

## 取扱いの趣旨

P P I の注射薬の効能・効果には経口投与不可能な疾患とあり、内服薬投与が不可能な患者が対象であるため、内服薬及び注射薬の併用投与は原則として認められない。

## 支払基金が公表している取扱いの全文

【投薬】

《令和6年7月31日》

244 プロトンポンプ・インヒビター（P P I）の内服薬及び注射薬の併用投与について

○ 取扱い

プロトンポンプ・インヒビター（P P I）の内服薬及び注射薬の併用投与は、原則として認められない。

○ 取扱いを作成した根拠等

P P I には、内服薬と注射薬の双方あるが、注射薬については、添付文書の効能・効果に「経口投与不可能な下記の疾患」として「出血を伴う胃潰瘍」等が記載されており、内服薬投与が不可能な患者が対象である。

以上のことから、プロトンポンプ・インヒビター（P P I）の内服薬及び注射薬の併用投与は、原則として認められないと判断した。

## グラフの見方

### 1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

プロトンポンプ・インヒビター（P P I）を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（内服薬及び注射薬の併用投与）に該当するレセプト件数

### 2 折れ線グラフ

プロトンポンプ・インヒビター（P P I）が  
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員等	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

## 審査結果の概要

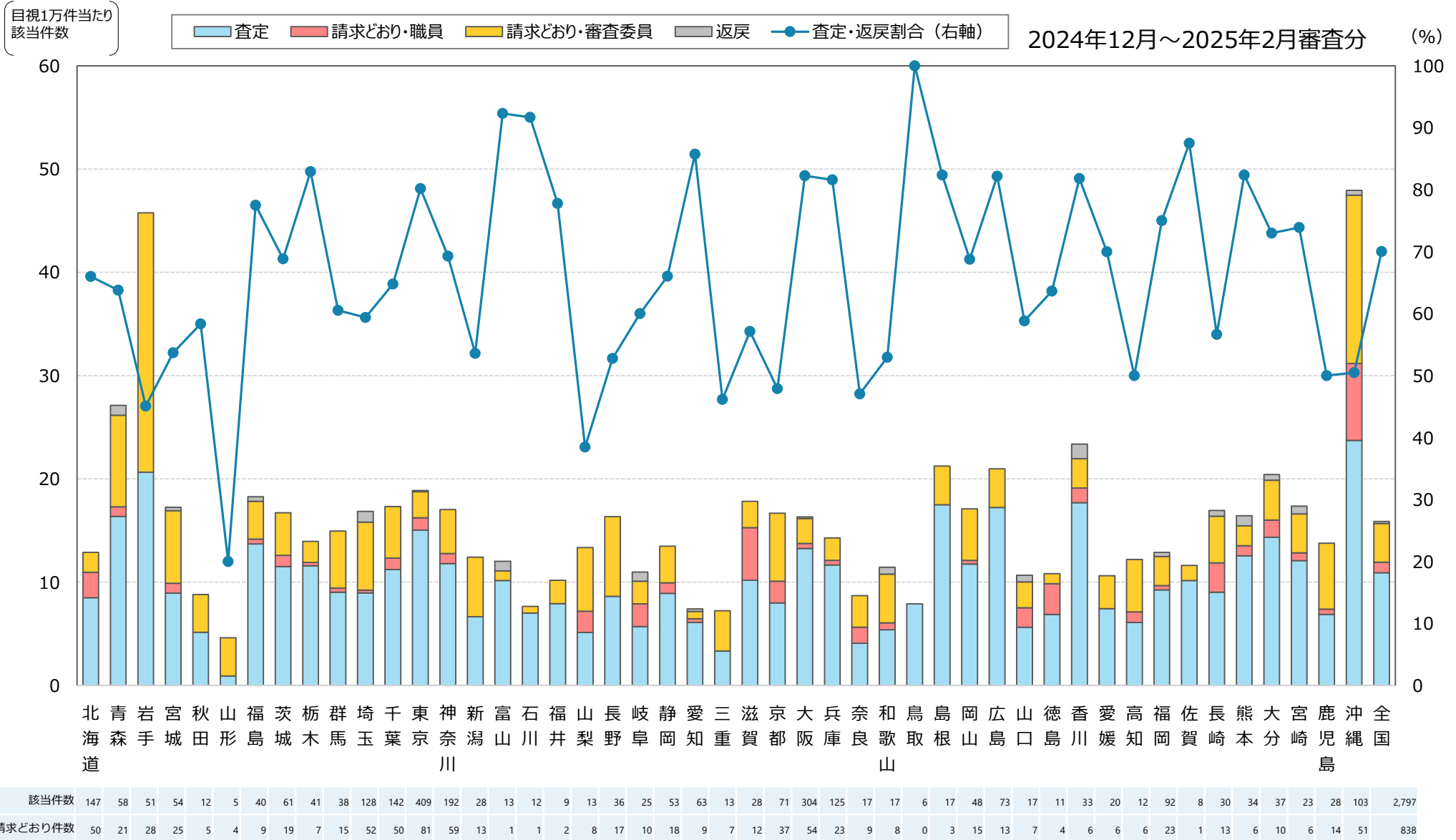
➤ 全国の査定・返戻割合 70.04%

➤ 検証対象都道府県 44

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	山形、山梨、岩手、三重、奈良、京都、高知、鹿児島、沖縄、長野、和歌山、新潟、宮城、長崎、滋賀、秋田	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	沖縄、滋賀、徳島、長崎、北海道、岐阜、京都、山梨、山口、大分、奈良、香川、東京、千葉、茨城、静岡	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	岩手、沖縄、青森、長野、宮城、埼玉、京都、鹿児島、山梨、新潟、群馬、高知、千葉、岡山、和歌山、長崎	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	【条件】	2,797件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	1,959件
検証を必要とする審査	請求どおり	838件



【該当件数】プロトンポンプ・インヒビター（P P I）を併用投与（内服薬及び注射薬）しているレセプト件数